



令和元年11月号

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書を貸出しています。ぜひご利用ください！



特集 パープル&オレンジリボンプロジェクト2019 DV・児童虐待 ～あなたは大切な人～

11/15(金)「虐待」親へのケアを考えるの講演会講師の本



虐待・親にもケアを 生きる力をとりもどすMY TREEプログラム

森田ゆり/著
築地書館/刊

虐待した親を支援し再発防止につなげる「MY TREEプログラム」。その開発者である著者自らが思想や技法、プログラム実践者の人財育成までを詳細に語る。折れることなく大地に根を張る生き方は誰にでも可能なことを感じて欲しい。

新刊！



体罰と戦争 人類のふたつの不名誉な伝統

森田ゆり/編著
かもがわ出版/刊

体罰と戦争で傷つき、死ぬ子どもたち。体罰は「しつけのため」戦争は「国を守るため」。この二つにはいくつもの共通点がある。人類はいつ、この悪しき伝統を止めるのだろうか。暴力とは何かを問い続けてきた著者の人間のいのちと尊厳を守る渾身の書。

新刊！

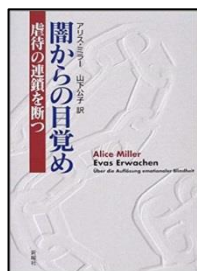


子どものための精神医学

新刊！

滝川一廣/著
医学書院/刊

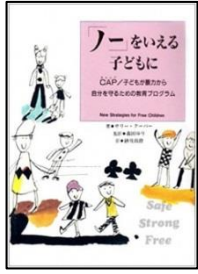
日々の暮らしの中で子どもたちと直接かかわる人たちに、子どもの精神医学という「基本的な考え方」「基本的なかかわりの姿勢」を平易な言葉で伝える。子どもの発達とは何か、人間とは、そして生きることとは何かを考えるきっかけになるだろう。



闇からの目覚め 虐待の連鎖を断つ

アリス・ミラー/著 山下公子/訳
新曜社/刊

人間にとって基盤となる幼少期をなぜ大切にしないのか。脳の研究により明らかとなった事実に基づき説明している。著者自らが経験した虐待被害とともに、親子の虐待連鎖を断ち切るためにたどった人々の癒しの足取りを描いている。



「ノー」をいえる子どもに CAP/子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム

サリー・クーパー/著 森田ゆり/監訳 砂川真澄/訳
童話館出版/刊

被害に遭う子どもたちを減らすには、暴力に遭っている子どもが、どうして「いや」と言えないのかを大人が知ることである。子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム「CAP」の紹介と、人権の考え方を基礎にした暴力防止の具体策を詳しく紹介。



Black Box ブラックボックス

伊藤詩織/著
文藝春秋/刊

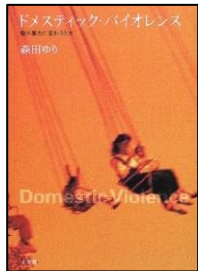
性暴力被害を告白したジャーナリストの著者が世に問う、「なぜ、司法はこれを裁けないのか」。その事実を証明するには、密室、社会の受け入れ態勢、差し止められた逮捕状、あらゆるところに“ブラックボックス”があった。圧倒的なノンフィクション。



なかつたことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白

東小雪/著
講談社/刊

そのことを告白するには、長い時間が必要だった。そのすさまじい暴力を「なかつたこと」にはできなかった。「生きる力」を取り戻すために、そして「生きづらさを抱えた誰かの胸に届くように」と、著者の思いが込められた一冊。



ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わるとき

森田ゆり/著
小学館/刊

(現在「小学館文庫」より発行)

DVの事例から暴力や暴言を繰り返す「する側」の心理と、逃げたいと思いながらも相手の元を離れない「される側」の心理を分析し、被害者や加害者への援助の方法を具体的に提示。さらに面前DVが子どもに与える影響とその危険性について警告する。

情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。
他にも同ジャンルの本や新着図書が
たくさんあります。職員におたずねください。

◇ 編集・発行 ◇

長岡京市男女共同参画センター
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）